

鎖国下の対外関係.2

名前

解答

解答

- 問1 鎖国下の日本では、長崎、対馬藩(長崎県)、薩摩藩(鹿児島県)、松前藩(北海道)が外国との窓口となった。長崎では、どこの国との貿易が行われたか。 (オランダ、中国)
- 問2 対馬藩は、どこの国との貿易を独占したか。 (朝鮮)
- 問3 薩摩藩は、どこの国を征服したか。 (琉球王国)
- 問4 松前藩が交易を行った民族は何か。 (アイヌ民族)
- 問5 鎖国政策下では、ヨーロッパの書物の輸入が禁止されていた。これはなぜか。
(キリスト教の影響を防ぐため)
- 問6 日本と朝鮮との交流が途絶えていたのは、豊臣秀吉による二度の朝鮮出兵が理由である。豊臣秀吉が二度にわたって朝鮮を侵略しようとした戦争を何というか。 (文禄の役・慶長の役)
- 問7 次のうち正しいものはどれか。 ((B))
- (A) 江戸時代の外交政策は鎖国と呼ばれ、外国との交流は一切なかった。
- (B) 鎖国下では、オランダとの貿易は出島で行われ、オランダ人は出島から出ることが許されていなかった。
- (C) ヨーロッパやアジアの情勢を記した書物はオランダ風説書と呼ばれ、このオランダ風説書によって民衆は自由にヨーロッパやアジアについて知ることができた。
- (D) 朝鮮との国交が回復すると、将軍の代わりなどに、使節が派遣されるようになった。この使節は、朝日使節団と呼ばれた。
- 問8 次のうち誤っているものはどれか。 ((B))
- (A) 1609年に琉球王国は支配されたが、王国はそのまま残され、異国として位置づけられた。
- (B) 薩摩藩は、琉球王国が行っていた三角貿易を管理下に置き、大きな利益を得た。
- (C) 松前藩は、アイヌの人々との交易によって大きな利益をあげた。しかし、この交易はアイヌの人々に不利な内容だったことから、アイヌの人々は不満を持った。
- (D) アイヌの人々は、シャクシャインを中心として松前藩に対する戦争を起こしたが、敗れた。
- 問9 アイヌの人々が住んでいた地域は、何と呼ばれたか。 (蝦夷地)
- 問10 松前藩が支配する地域は、アイヌの人々が住む地域と区別された。松前藩が支配する地域は、何と呼ばれたか。 (和人地)

